

令和3年度すくすく泉事業採択・評価委員会 委員事前質問一覧

【質問の観点】

(1) 事業の実績 (2) 事業の効果 (3) 事業の継続性 (4) 事業の発展性 (5) 事業の安定性 (6) 補助団体の継続性 (7) 補助団体の安定性

質問	団体からの回答
令和3年度実績、子育てひろば事業の実績で、「インクルーシブなひろばのための相互理解を深める取り組み」とは、具体的にどのような取組か。	令和2年度から継続している取り組み。主に子どもの発達に不安がありひろばを利用しにくい方や、そのような親子にどう関わったらよいかわからない利用者が、お互いの思いを知る機会を作ったり、学ぶ機会を作ったりする取り組み。令和3年度の具体的な活動は日々のひろばの中で、特別な配慮が必要な子どもの親に話をしてもらったり、一緒に遊ぶ時の配慮点を教えてもらったりして、みんなで過ごせる場をつくった。不安を抱える親子が安心して過ごせるとわかれば、知り合いを連れてきてくれたりと輪が広がる。スタッフはミーティングにおいて情報共有や学びを深めていく。これは令和4年度にも続く取り組みである。
令和4年度事業計画(案)、小規模保育事業において、「A型に移行し安定した運営をする」とあるが、A型に移行することによる、施設型のメリットは何か。	A型に移行するということで、常勤保育士が中心となって保育をする体制が整う。常勤保育士が複数いることで愛着関係が形成され子どもたちの心が安定する。また、保育をつなぐ時間軸ができることや保育士同士で大事にしたいことや情報の共有がしやすくなり、子どもたちの成長発達の保障ができる。補助金が増額することにより職員の安定した処遇を確保できる。
令和4年度資金計画書で、キャリアアップ補助金を見込んでいない理由は何か。	R04予算において、キャリアアップ補助金は現時点で確定値では無い為、他の補助金同様に計上していない。 キャリアアップ補助金は受給額全額を配布することから収支に影響しないと判断。
「令和3年度「すくすく泉」事業運営実績」3. 事業内容②利用実績 7月の1日あたり平均利用時間が多いのではないか。	桁が違っていたので訂正したい。
新型コロナウイルス対応について 昼食等飲食を伴う場における感染対策を伺いたい。 また、利用児への指導(実践)があれば伺いたい。	常時、窓を対角に開けて換気をする。保育士はマスクを着用。机やイスをアルコール消毒してから食事をする。机をコの字型にして、直角に交わる箇所は一人分あけて座り、正面からの飛沫を浴びないようにする。子どもの気持ちや状況に合わせて、時間差で食事をする。利用児への指導は、石鹸で手洗いをし、ペーパータオルで手を拭いてから食事をする。
「施設改善」に「盗難があった」ため防犯カメラを設置し対策をとっているが、状況について確認したい。	自転車置き場の自転車カゴにあったものが無くなるが続いた。(9月に保護者のレインコート、11月に子どものヘルメットが無くなった)防犯カメラを確認したところ、いずれもちょうど死角になっているところで、詳細が分からなかった。玄関と、ゴミ置き場を映す防犯カメラがあったが、自転車置き場用を増設した。これで施設の周囲はほぼ全部防犯カメラで確認できるようになった。
「令和3年度活動計算書(見込)の費用細目」 一時預かり事業の「保育材料費」の経常経費が0円であるが、事業において必要はないのか。	ひろばを利用しての一時預かりのため、実際に一時預かりのためだけの保育材料は必要ないため。